



Rotary



2015-2016 年度

国際ロータリー会長 / K. R. ラビンドラン  
2690地区ガバナー / 佐藤 芳郎

会長 / 河原 治子 副会長 / 田中 浩史  
幹事 / 清原 正幸 会 計 / 田中 久雄

■平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町 2280-1 平田商工会議所 2F  
TEL: 0853-63-3232 / FAX: 63-5365 / IP: 050-5204-5816  
URL: <http://hirata-rotary.jp/> Mail: [office@hirata-rotary.jp](mailto:office@hirata-rotary.jp)

9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝祭日 休局)

■例会プログラム ■

例会日	卓 話 者	演 題
10月22日	島根県アイスホッケー連盟 事務局長 兼 強化部長 石 飛 厚 志 様	アイスホッケーと地域の関わり
10月29日	休 会	
11月5日	議長 河原 治子 夜間例会 18:30~	年次総会 2000 回記念例会
11月12日	(株)護縁 プロデューサー 安 川 唯 史 様	映画「たたら侍」について

■出席報告 ■

会員数	出席者数	欠席者数	出席率	前々回補正出席率
45	33	12 (3)	78.57 %	83.33 %

■欠席者 ■

板垣 / 小汀 / 清原 / 園山 / 石原俊 / 杉原 / 園 / 内田 / 曾田  
(山根 / 牧野 / 木村)

■来訪者 ■

森山(出雲南)

■メークアップ ■

10/20 高砂(松江しんじ湖) 10/21 高砂・大島卓(大社)

■次回例会受付当番 ■

(11月5日) 原 泰久 / 黒田昌弘 / 來間 久

(11月12日) 小汀泰之 / 榎野良文 / 持田稔樹

■近隣クラブ例会情報 (メークアップを考えましょう) ■

月	出雲中央 12/14 12/28(休) 1/4(休)	松江南 11/2
火	出雲 10/27 12/15 12/29(休) 1/5(休) 1/19(休)	松江しんじ湖 10/27 11/24
水	大社	松江
木		松江東
金	出雲南	

■会長挨拶 ■

米山梅吉氏について

今月は米山月間である。

日本のロータリーの創始者であることを知らぬ者はいない。ロータリーの父と呼ばれている。

米山氏がどう云う経緯があって日本に初めてのロータリークラブを創設されたのかを知りたいと思い調べてみることにした。

この方は5歳の時に父親を亡くされて、母方の里の方へ移られる。12歳の頃、隣村の大地主米山家への養子縁組の話があったが、文筆での立志を望んで、地元の中学校を二年で中退して上京。東京英和学院に入り、米人の講師につき語学の研修をし、同時に東京府の吏員(文書など扱う役人)となり、苦しい生活をしながら勉学に励まれた。

20才の時、米山家へ養嗣子として入籍され、米山家の理解を得て渡米を許された。苦学をしながら8年間の内法学を修め、帰国後勝海舟に師事し東京博文館より本を出版したりされるが、三井物産に勤務の「福島喜三次」と出会い、初めてダラスロータリークラブに行き、大いに驚き、感動をして、大正9年53才の時、東京ロータリークラブを創立した。

会長を米山梅吉、幹事は福島喜三次であった。

留学生の大変な生活や悩み苦しみを肌で感じ、自分で頑張らねば何も得られないこと、他人への思いやり、助け合いなど多くを学んだ。

ロータリーという掛け替えのないものに出会われ情熱をそそがれた。

昭和19年(77才)疎開先静岡で余生を送られ、21年(79才)で世界されている。昭和27年、東京ロータリークラブが米山氏の貢績を称えて「米山基金」を創立された。尊い生涯を送られたと思う。

■幹事報告 ■

1. ガバナーエレクト 庄司尚史様、地区R財団委員長 伊藤文利様より「次期クラブ R財団委員長研修会・地区補助金管理セミナー」のご案内

日 時 12/13(日) 13:15~15:00 / 受付 12:30~

場 所 米子全日空ホテル

出席義務者 次期会長・幹事・R財団委員長

2. 例会変更

○ 松江しんじ湖RC 11/24(火) 夜間例会

ビジター受付 12:00~12:30 すいてんかく

3. 休 会

○ 松江南RC 11/2(月) 定款により

ビジター受付 12:00~12:30 松江エクセルホテル東急

■スマイル ■

森山(出雲南) (久方ぶりにおじゃま致します。女性三人目の会長河原様ご苦勞様です。本日は茶の話ということでお世話になります。よろしく願い致します。大島会員様にはご丁寧にお迎えいただき恐れいりました。)

河原 (石飛厚志様、出雲南ロータリークラブより森山宗育様、お忙しい中ようこそおいで頂いて、ありがとうございます。)

大島卓 (森山先生のご来訪ありがとうございます。)

伊藤 (森山先生 よこそ)

榎野 (出雲南RC森山様のご来訪を歓迎して。)

恒松 (森山様、ようこそいらっしゃいました。御指導宜しくお願い致します。)

高砂 (森山様、ようこそ! 色々これからお世話になります。)

飯塚大 (出雲南クラブ森山様ようこそいらっしゃいました。いつも大変お世話になっております。)

大谷厚 (石飛様のスピーチのところ恐縮ですが、所用にて早退させていただきます。森山様ようこそおいでいただきました。)

佐々木 (10月28日はいよいよ灘分防犯教室です。ピンクのジャンパー着用で多数の参加をよろしくお願いします。)

■スピーチ・例会行事 ■



「アイスホッケーと地域の関わり」

島根県アイスホッケー連盟

事務局長 兼 強化部長

石 飛 厚 志 様

私は掛合町出身で、剣道や相撲のほか、小中高校ではバスケットボールをやっていましたが、大学でアイスホッケーに出会いました。現在、島根県職員として勤務する傍ら、湖遊館でのアイスホッケーに携わる機会が増えたため、鹿園寺町に転居しています。

アイスホッケーはプレーヤー5人とゴールキーパー1人の計6人が氷上でプレーします。プレーヤー5人を「セット」と呼び、選手の交代は自由です。通常、セット単位でどんどん交代しますので、他の競技と違い、試合に出ることができない選手はほとんどいません。ルール上ボディチェックが許されており、氷上の格闘技と呼ばれますが、充実した防具を装備しており、激しい中にも安全に配慮したスポーツです。

またスケートを履いており、選手は時速40～60kmくらいのハイスピードで移動します。ほんの数秒で試合が動くスリリングな展開を見ることができるとともに、プレーヤーには、展開を読む力・信頼関係・チームワークが求められるスポーツです。

競技の魅力として、幼少期であれば、できなかったことが一つ一つできるようになってくると、また青少年期であれば、強靱な体(180cm、100kgをめざす)の育成やチームスポーツとしての自己実現があります。壮年期になっても、健康維持を目的として続けることが可能です。

アイスホッケーは日本ではかなりマイナーなスポーツですが、カナダ・アメリカ・ヨーロッパを中心に世界で181万人の国際アイスホッケー連盟登録者がいます。日本の登録者は約2万人、世界で10番目になります。日本男子チームの世界ランキングは16位以下で、オリンピックにも出場できませんが、日本女子チーム“スマイルジャパン”はソチオリンピックに出場しました。

島根県内の競技者数は100人弱、全てのカテゴリが存在していますが、小・中・高校生が非常に少ない状況です。高校を卒業した後は、多くは県外の大学に進んで競技を続けてくれています。県内では島根大学にもアイスホッケー部がありますし、社会人チームも2チームあります。

中四国地域の正規リンクは、岡山(2)、広島(1)、香川(1)、島根(1)に5つしかなく、この4県での持ち回りで大会を開催しています。5つの正規リンクのうち、通年活動できる2つのリンクを有し年中活動している岡山県はさすがに強いチームです。

スケートリンクの存在する地元の湖遊館は地域にとって貴重な資源です。湖遊館を守る活動として、清掃活動、ジュニアアイスホッケー教室・日曜スケート教室、指導者講習会、ボランティア指導員、小学校や地区棟の活動への支援、国体開催等に伴う湖遊館備品の補助金獲得や、出雲市の公立施設の見直しに際して利用者団体で要望書を提出するなど行っています。良い成績を残すことが最も重要なことは言うまでもありませんが、なかなかハードルが高い状況です。

今後の夢として、地域にプライドを持った青少年を育てることです。奥出雲のホッケーは、国体での成果を元に活動を知ってもらい、社会貢献・交流を通じて地域と共に歩んだ結果、現在活躍していますが、同様に、出雲のアイスホッケーが発展していくことを目標としています。個人的にはさしあたって、向陽中学校へのアイスホッケー部設置をめざしています。そしていつかは、世界に通用する日本スタイルのアイスホッケー選手が出雲の地から輩出できるようになることを心から願っています。

■■■「礼儀の心を学ぶ」ミニ茶会（10月22日）■■■

於)ホテルほり江

講師 出雲三斎流 第二十代家元 森山宗育 様

